

第2回 肱川地区複合公共施設整備検討部会 会議内容の報告について

去る2月20日（木）午後7時から、肱川公民館集会室において、第2回 肱川地区複合公共施設整備検討部会を開催しました。

はじめに、前回の振り返りとして、事務局より各施設の現状や複合施設を整備するに至った経緯について説明し、ワークショップで出た意見を報告しました。

その後、複合公共施設の概要（施設の規模や機能の構成、配置計画など）について説明し質疑応答を行いました。

質疑応答の内容は次のとおりです。

Q. 市のワーキングチームには肱川の職員は何人入っているのか。できるだけ多くの意見を拾ってほしい。

A. 肱川からは支所2名、公民館1名、保健センター1名の4名がメンバーになっている。会を開く際には、事前に他の職員の意見を聞いてもらったり、会の結果を共有してもらうようお願いしている。今後も今のメンバーで進めていきたい。

Q. 机やパイプ椅子などイベントなどの備品がたくさんあるが、どこに保管するように考えているのか。

A. 新しい施設ができれば、保健センターと図書館はそちらに移転する。その空いたスペースを備品の保管場所にするよう考えている。

Q. 中央自治会の事務所は、今のように公民館と同じになるのか。別にする予定はないのか。

A. 今のところ、公民館と自治会の事務所を別に整備することは想定していない。事務局としては、公民館と自治会が同じ部屋で業務をする方が情報も共有できるし効率もいいのではないかと考えている。現在の市内における公民館と自治会との関係から見ても、今後も分けて整備することはないと考えている。

Q. 避難所には和室があった方がいいと思うが、和室を作るようになっているのか。

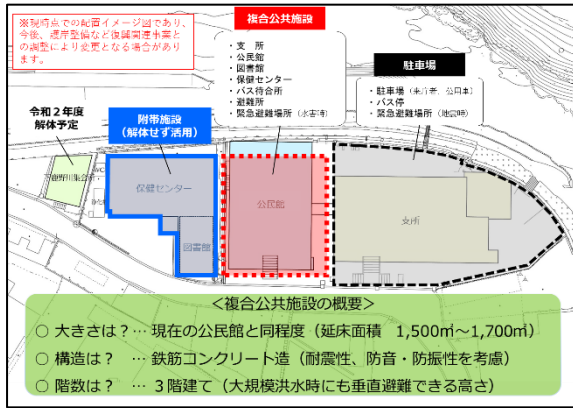
A. 市内でも集会所を作る時にフローリングを要望されるところが増えている。複合施設についても基本的には和室は作らない考え。避難所として使用する際にはクッションマットなどで対応したいと考えている。また、会議室を土足禁止するなどして和室のような使い方ができないか検討している。

Q. 下鹿野川集会所は、複合施設の会議室等を使うようになるのか

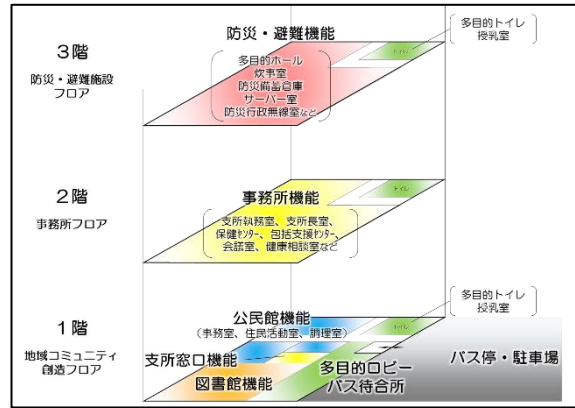
A. 今の案では、複合施設の完成後、現保健センター建物の一部を貸出スペースとし、そこを利用させていただくことを考えている。複合施設を利用してもらうことも考えたが、保健センター建物を利用してもらう方が、地区の方も利便性が高いのではないかと考えている。ただし、あくまでも公共施設なので、下鹿野川地区専用での利用はできないのでご了承いただきたい。今後、区長さん等の意見を聞きながら具体的に検討を進めさせていただきたい。

裏面に続きます

施設の配置イメージ案



施設内の配置イメージ案



後半は3班に分かれてワークショップを行いました。

まず、新しい施設でやってみたい活動について意見を出していただき、続いて、活動するために必要な設えや空間のイメージについて話し合っていました。



最後に、各班で話し合った内容を発表していただきました。

やってみたい活動では、現在、公民館を利用している活動に加え、「男の料理教室」や「カラオケなどの趣味」、「仲間での茶話会」などの意見が出ました。

また、必要な設えやイメージについては、図書館に関するものが多く、読書や勉強など個人が落ち着いて利用できる環境を望む意見や親子で楽しめるスペースを望む意見がありました。また、気軽に利用できるロビーや雰囲気も望む意見もありました。



2回のワークショップを通して、施設整備の基本方針となる基本計画の策定に必要な貴重なご意見をいただくことができました。

基本計画は今年度中にとりまとめを行い、3月の策定を予定しています。

基本計画策定後は、施設整備に向け、より具体的な内容について検討を行い、実施計画、実施設計を作成していきます。